

## 2月 定例教育委員会会議録

1	日 時	平成31年2月20日(水)	午後5時30分から午後6時19分まで
2	会 場	磐田市役所 西庁舎3階	特別会議室
3	出席者	村松啓至教育長 秋元富敏委員 青島美子委員 鈴木好美委員	
4	出席職員	秋野雅彦教育部長、菌田欣也教育総務課長、山本敏治教育総務課参事兼学府一体校推進室長、加藤計吾児童青少年政策室長、木野吉文学校給食課長、小澤一則学校教育課長、伊藤八重子中央図書館長、高梨恭孝文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、鈴木都実世幼稚園保育園課長	傍 聴 人 0人

(進行委員：青島美子委員)

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ・教育長報告

本日は総合教育会議に引き続き、2月定例教育委員会に御参集いただきましてありがとうございます。先ほどの会議で話をいただいた放課後児童クラブ等については、重要な課題であり、教育委員会や学校全体で考えていくことが必要であります。ぜひとも、さまざまな御意見をいただく中で、今抱える問題解決に向けて御協力をお願いします。

さて、千葉県野田市で栗原心愛さんが亡くなりました。まことに残念で言葉もございません。私たち教育行政に携わるものは、大いに自分のこととして反省をしなければいけません。学校、教育委員会、児童相談所など、さまざまな方面から数多くの報道がされていますが、しっかりと事実を見極め、事の本質を捉えなければなりません。その場にいた者でなければわからないことが多いですが、国民全てが評論家になり事態を混乱させることは好ましくありません。報道に惑わされないよう注意しなければいけないと考えています。

今回の事件を受けて、12日の校長会で次の事をお願いしました。

1点目は、子どもの顔を全員、確認してほしいということです。これは、安全で健康であるかどうかを確かめてほしいということです。このことは、以前から、何があってもどのような状況であろうが、必ず確認をしてほしいとお願いをしてきたことです。

2点目は、緊急時や、親から不当な要求があった場合などは、総力を結集して事に当たってほしいということです。児童相談所、警察、サポートセンターは全面的に協力をしていただけるようお願いをしてありますし、今回の事件を受けて、各機関も何とかしなければならないという気持ちでいます。

3点目は、着地点を見極めてほしいということです。着地点の理想は、親子関係が良くなり、暴力のない平和な家庭に戻ることです。この理想は児童相談所職員、学校の教職員みんなが思っていることです。新聞に載っていましたが、暴力がなくなれば、もとの家庭に戻れるのではないかという願いを一番持っていたのは心愛さんだったということ、知らないといけないと思います。このような思いとは裏腹に、病院や施設に行っている子たちが、帰ってきても家庭になじめない状況が続き、再度、DVや虐待になるケースが多くあります。この着地点を、まさに今、学校現場の先生たちは、焦らずにつくってくれていると感じています。

先日、いわた俳句大会が開催されました。小学生で、特賞に選ばれた作品に「そら豆と 一緒に

空を むいてみた」という句があり、中学生の特選の句に「クリスマス 魔法の夜が 訪れる」がありました。俳句の中に、私たちの生きる営みが含まれているように感じました。新鮮な自然体験、何げない家族愛、それを感じさせてくれたひとときでした。

それから、「磐田の教育」道しるべを活用した道德の授業が、竜洋西小学校で行われました。4人の講師を招き、大変良い授業内容であったことの報告を受けています。この場を借りて報告させていただきます。

先ほども申し上げましたが、総合教育会議に引き続きということで、大変ですけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

<質疑・意見>

なし

### 3 前回議事録の承認

1月25日定例教育委員会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

### 4 教育部長報告

2月市議会と当初予算について報告をさせていただきます。

2月議会については、既に2月15日から始まっており、3月18日までの32日間の会期となっています。この2月議会では、平成31年度当初予算など、全部で40議案が上程され、本会議と予算委員会、常任委員会で審議が行われます。

一般質問と代表質疑は、2月25日からのべ4日間にわたり行われます。一般質問につきましては既に通告がありまして、答弁内容等を現在調整しているところです。議会の概要については3月の定例教育委員会で、報告させていただきます。

当初予算の関係ですが、1月の定例教育委員会で、教育委員会所管の予算につきまして審議いただき、承認をしていただきました。今回は市全体の予算の概要ということで、説明させていただきます。

予算の全体像ということで、一般会計は、ながふじ学府一体校の建設工事に着手するほか、平成31年度に完成を迎えるJR新駅など、大規模事業の推進による普通建設事業が増額していて、平成30年度当初予算に比べ、5.4%、34億2,000万円増額の660億3,000万円となり、3年連続で合併後最大の予算となっております。

次に、行政組織機構の整備ということで、主だったところでは、資産経営準備室を秘書政策課内に設置し、公共施設を総合的に管理、活用するための検討を行う室が新設されます。

健康福祉部では、福祉課から地域包括ケアシステムの推進、介護保険サービス業務等を分離して、高齢者支援課が設置されます。

次に子ども部ですが、子育て支援課の名称を、子ども未来課に変更して、母子保健や発達支援等の子育て支援全般を担うとともに、子ども若者相談センターをiプラザに設置して、悩みを抱える子ども、若者、ひきこもり等全般にわたりその支援をする、相談センターが設けられます。

平成31年度予算額は91億円余ということで、パーセンテージでは、対前年比は34.7%増えているということです。

今回の2月議会の補正予算で、小中学校のエアコンの経費が計上されました。これは、全額来年

度に繰り越しされますが、約 16 億円となります。これを合わせますと、実質的な平成 31 年度予算は 107 億円となり、大型予算を執行するということが、教育委員会事務局としては、事務を効率的に進め、予算を有効なものにしていきたいと思っております。

<質疑・意見>

なし

## 5 議事

なし

## 6 報告事項

### (1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

なし

### (2) 幼稚園保育園課

・磐田市幼稚園保育園再編計画（第 2 期）に伴う公立園民営化の進捗状況について

○はじめに、予定事業ですが、3 月 22 日に、磐田なかよしこども園の竣工式及び、内覧会を執り行います。委員の皆様にはお忙しいところ申し訳ございませんが、御臨席をお願いいたします。

幼稚園保育園再編計画(第 2 期)のうち今年度の計画に位置づけされている、公立園の民営化に伴う法人選定の状況について、ご説明いたします。

今年度、随時説明をしてきておりますので重なる部分があると思いますが、改めて説明させていただきます。

最初に東部幼稚園です。こちらは、「社会福祉法人 聖隷福祉事業団」が運営法人として選定されました。浜松市に本部を置き、幼保連携型認定こども園を 7 園運営し、そのうち磐田市内では 2 園を運営、保育園については 5 園を運営し、うち磐田市内では 1 園を運営している法人です。

当初の予定は、今年度の法人決定後、平成 31・32 年度に法人による設計と施設整備を実施し、平成 33 年度から、民営による、幼保連携型認定こども園としての運営開始を予定していました。

今年度、運営法人決定後、法人とも協議を進めておりますが、この敷地は「野際遺跡」地内であり、新たな園舎建設にあたっては、埋蔵文化財の調査が必要になります。

今後、法人の設計をまずは進めてもらい、その設計内容に基づき文化財調査を実施し、その後法人による施設整備となりますので、設計内容と調査の進捗及び結果によっては、スケジュールが変更になる可能性が出てきている状況です。

続いて、岩田こども園です。こちらは、「学校法人 頭陀寺学園」が運営法人として選定されました。浜松市に本部を置き、幼保連携型認定こども園を 2 園運営している法人です。

今後の予定は、平成 31・32 年度に、法人による設計と施設整備を実施し、平成 33 年度から、民営による、幼保連携型認定こども園としての運営開始を予定しています。

続いて、竜洋西保育園・竜洋北保育園の統合園です。こちらは、プロポーザルへの参加表明をした法人が 1 法人あったものの、プロポーザル前に辞退届が提出されたことにより、運営法人の選定が出来ていない状況です。今年度 4 法人を選定することから、計画的に 1 法人ずつ運営法人をプロポーザル方式により選定してきました。この竜洋西保育園・竜洋北保育園の統合園については最後の選定となり、プロポーザルの開催を先月 1 月 29 日で予定しておりました。

この時期となっていること、また、今回の参加表明が1法人であったことから、今年度中に再度募集を実施しても、参加法人を見込めないと考え、来年度に入ってから募集公告、プロポーザルの実施・決定とするよう、今後のスケジュールを変更していくことで調整していきます。

スケジュールとしては、平成31年度に法人を再公募・決定し、平成32・33年度に法人による設計と施設整備を実施し、平成34年度から、民営による運営開始としたいと思えます。

最後に、豊田南第3保育園です。こちらは、「社会福祉法人 浜松児童福祉園」が運営法人として選定されました。浜松市に本部を置き、保育園を5園運営している法人です。今後の予定は、平成31年度に運営移行準備を進め、平成32年度から、民営による保育園としての運営開始を予定しています。こちらは、現在の園舎を活用しての民営化で、将来的に法人による施設整備をしていただくこととなっています。

4園の進捗状況等は以上となりますが、当初予定していた計画から変更する部分がありますが、目指している方向性そのものに変更は無く、多様な保育ニーズに応え、充実した保育環境を整え持続していくことができるよう、来年度以降も取組んでまいります。

#### <質疑・意見>

○東部幼稚園の埋蔵文化財調査の件ですが、期間はどのくらいかかりますか。

○法人による設計が平成31年度に入ってからとの予定であり、設計の詳細はまだわかりません。敷地のどの場所に園舎が建設されるということが固まり次第、調査の範囲を決定していくこととなりますので、現時点で期間についてはお答えできない状況です。文化財課長の方から、補足がありましたらお願いします。

○本件について文化財課に相談があったのは平成26年12月になります。当初の予定で、平成33年に幼稚園運営が開始される計画であるということを知っていました。東部小の校舎の建築のときにも、遺跡の調査が行われた経過がありましたので、遺跡調査の必要な場所である旨を説明させていただいています。

ここの土地は地盤が悪く、盛り土をして造成をしています。その盛り土は1メートル以上ありますが、この盛り土の中で基礎も含めて、保護層30cmを確保し、基礎等がおさまれば遺跡は保護されますので、埋蔵文化財の調査をする必要はなくなり、文化財課の立ち合のみを行うことになり、その予定で対応してきたところですが、今回、プロポーザルが実施され、事業者となった聖隷福祉事業団と、11月に建築計画の聞き取りを行う中で、トイレピット等の基礎的な部分で、大分深く敷地を掘らないといけない箇所があることがわかり、調査が必要である旨を伝え、検討することとなりました。

平成31年1月に、3者で協議を行い、建築計画について再度確認したところ、基礎の部分を強固にしたいというような考え方が示されたことを受け、敷地全域についての調査が必要になる可能性が浮上しました。全域調査となると、調査期間がどのくらいになるのか、見極めが難しくなりますので、建築計画が確定する、6月頃に、文化財課と聖隷福祉事業団とで話し合いを行い、調査範囲等を決定していきたいと考えています。また、磐田原台地の一番すみということで、台地にふった水がその場所から湧き出てくる場所になり、調査自体が非常に困難性の高い箇所になります。そのような事情も含め、工事の安全性や職員の確保などを考えますと、長期にわたる調査や工事が予想されます。現時点では、調査に係る正確な期間はお話できないことを御理解いただければと思います。

### (3) 教育総務課

- ・ながふじ学府一体校の進捗状況について

○平成 29 年度に策定しました基本設計をもとに、実施設計が概ねまとまっています。

平成 31 年度、32 年度の 2 年間で校舎の建設工事、33 年度に既存校舎の解体、グラウンド整備を実施し、概ね 3 年間で工事を進めていく予定です。

実施計画は基本的に基本設計の段階から大きな変更はなく、予算の枠内で部材や、室内については概ねまとまっている状況です。

<質疑・意見>

なし

### (4) 学校給食課

- ・平成 31 年度磐田市学校給食物資納入業者の指定について
- ・平成 30 年度磐田市学校給食物資納入業者の追加指定について

○はじめに平成 30 年度磐田市学校給食物資納入業者追加指定についてです。

今年度内に納入可能な食材料がある 2 つの事業者から申請がありました。「マルヒ製茶」は、磐田茶を使用した抹茶パウダーの加工製造を、「宮ファーム」は、新規就農者として少量多品種の野菜や果物の生産を行っています。

次に、平成 31 年度磐田市学校給食物資納入業者の指定ですが、ただ今の 2 事業者を含め、申請事業者は 70 件です。

以上、いずれの案件も平成 31 年 2 月 6 日に開催をいたしました学校給食運営委員会において、承認をいただいております。

<質疑・意見>

なし

### (5) 学校教育課

- ・部活動ガイドラインについて
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

○今回報告予定でありました、部活動ガイドラインについては、作成中となりますので次回以降に報告させていただきます。

平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果ですが、本年度も、学校・家庭・地域が連携して取り組むことが大切と考え公表します。

磐田市の結果については、市平均値の結果と概要を市のホームページで公表します。学校についても、学校の平均と結果やその分析について、保護者に公表します。

今回、公表する本市の調査の結果の概要についてですが、小学生は男女とも、握力と 50 メートル走の結果は全国や県と比べ良好でした。特に、握力については、昨年度と比べ男女とも向上しています。中学生は、男女とも反復横跳びの結果が、全国や県と比べて良好です。また、中学生 1 年女子については、握力とハンドボール投げ以外は、全て全国や県と比べて、上回っているという状況にあります。

課題としているソフトボール投げですが、残念ながら小中とも改善が見られないという現状です。

昨年度の中学生女子は、保健体育の授業が楽しいと答えた生徒が少なかったと報告させていただきましたが、今年度は、運動やスポーツが好きだという生徒が多く、そのこともあり、中学生2年女子は、結果が良かったものが多かったと考えています。

## (6) 中央図書館

○大人のお話会についてですが、参加人数は50名でした。大勢の方の参加をいただくことができましたので、今後も大人のための企画を引き続き考えていきたいと思っております。

<質疑・意見>

なし

## (7) 文化財課

<質疑・意見>

○国分寺跡整備委員会の簡単な概要について説明をお願いします。

○遠江国分寺跡の公園は都市公園としての機能があります。また、特別史跡ということで、全国に3つしかない史跡に指定されており、史跡の整備と都市公園の整備をどのように調和させるか大きな課題になっていて、文化庁の方からも、いろいろな指導を受けているところです。

課題の中で、公園の照明について、委員と何度も議論してきた経緯があります。特別史跡の公園の整備ということから言えば、照明はなくてもよいとなりますが、都市公園機能を持っていることから、利用者や若い人の声を聞いたらどうかと意見があり、磐田南高校や磐田農業高校の生徒と直接話す機会を設けました。その中で国分寺公園は夜は暗くて怖いというイメージがあるという意見がありました。都市公園としては、ある一定の照明は必要だということで、文化庁にその旨を報告し、照明の整備について了解をいただきました。

次の課題として、樹木整備についてです。非常に木が繁茂し、危険性が高まっているなかで、地元自治会の中泉・見付地区の代表の方々に来ていただいて、現場を一緒に確認するなかで、大きな木については、整備をする方向になりました。見通しのいい、安全な公園にしてもらいたいという意見も出ており、そのような方向で、委員会においても認めていただいており、来年以降、整備が進められる予定です。

専門的な部分で、木製基壇をどのようにしていくかや、木製基壇の上に、埴（せん）というタイルのようなものになりますが、それを敷いていくわけですが、どのように敷くか、大きさをどうするかなど、議論されています。また、灯籠について、木製の灯籠は全国的に例がないということで、どういう形にしいくかなど、専門委員の先生を中心に議論をしています。このようなことを議論しながら具体的な整備に向けて、さまざまな方面から検討をしている状況です。

○でき上がりが非常に楽しみです。

○国分寺整備の中で構造物として出てくるのが、唯一灯籠になります。他は基壇という形で、基礎の部分だけの再現になります。おそらく灯籠は日本初ということになるかと思えます。

○2次整備計画も、日本で初めてのことです。

○再整備をすることも、日本で初めてのです。

## 7 協議事項

なし

## **8 その他**

なし

## **9 次回教育委員会の日程確認**

- ・臨時教育委員会

日時：平成31年3月1日（金）午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

- ・定例教育委員会

日時：平成31年3月20日（水）午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

## **10 閉会**